

No.	質問事項	・回答に係る関連資料名、章番号	回答内容
1	仕様書P3 5-(2)-イ、ウ 文字コード変換について、行政標準文字と現行および独自システムの文字コードとの変換パターン表は、貴庁または現行および独自システムから提供される認識で良いでしょうか。	仕様書 P3 5-(2)-イ、ウ	市側で用意を進める想定ですが、提供資料の内容については別途協議のうえ、決定します。
2	仕様書P5 6-(2) 運用期間中の変更作業について、変更量また変更作業量の前提はありますでしょうか。“変更作業を運用費に含む”、“想定の変更内容を超える…別途協議”とあるため、想定的大小で提案する運用費が変わると考えております。 (想定を小さく提案することで、運用費は低いが協議範囲が大きくなるため)	仕様書 P5 6-(2)	想定の変更内容としては、法改正や連携仕様の改版による改修、システムの標準化による連携インターフェースの増減への対応を想定しております。これら以外のものを「想定の変更内容を超える変更作業」とすることを想定しております。
3	仕様書に記載されております「8GB相当」のメモリ容量につきまして、システム要件に応じたスペックの上方修正（16GBなど）は可能でしょうか？	仕様書 P2 5- (2) -①、②	原則、仕様書のとおりとしますが、メモリ容量の16GBへの上方修正については協議可能です。
4	HDDについて「最大1TB」とのご記載がございますが、ログデータの一定期間保管を前提とした場合、必要容量が変動する可能性がございます。つきましては、以下についてご教示ください。 ・データ保管が必要な期間 ・監査対応等における保存要件	仕様書 P2 5- (2) -①、②	現状のファイルサーバでは約1年間の保存としております。導入予定のシステムにおけるデータ保管が必要な期間及び監査対応等における保存要件については、別途協議のうえ、決定します。
5	通信方式はガバメントクラウドの標準仕様に準拠するものと理解しておりますが、現時点でSFTP以外の通信方式も確定している場合、その通信方式をご教示ください。	仕様書 P2 5- (2) -ア	現時点で通信方式は検討中で確定しておりませんが「国が定めた標準仕様」に基づいた通信方法のご提案をお願いいたします。
6	SFTP通信を前提とする場合、認証方式（公開鍵認証、パスワード認証等）にご指定がございましたら、ご教示ください。	仕様書 P2 5- (2) -ア	SFTP通信を前提と確定しておりませんが、認証方式については別途検討中です。
7	「標準準拠システムが共通機能に出力したCSVファイルを庁内ファイルサーバにダウンロードする」とのご記載につきまして、当該CSVファイルは「基本データリスト」形式での出力という理解でよろしいでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -イ	標準仕様に定義している基本データリスト形式を利用することを想定しています。詳細は、別途協議のうえ、対応します。
8	独自システムへのデータ連携における出力レイアウトや、基本データリストとのマッピング仕様については、貴市より資料をご提示いただける前提でよろしいでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -イ	市側で用意を進める想定ですが、提供資料の内容については別途協議のうえ、決定します。
9	文字コード変換に必要な変換テーブル（文字コードマッピング表等）は、貴市よりご提供いただける前提でよろしいでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -イ	市側で用意を進める想定ですが、提供資料の内容については別途協議のうえ、決定します。
10	「標準仕様に定義されたフォーマット」は、「機能別連携仕様（IF仕様）」を指すものという理解でよろしいでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -ウ	標準仕様に定義している機能別連携仕様をベースとして利用することを想定しています。詳細は、別途協議のうえ、対応します。
11	過渡期システムが出力するCSVデータから、IF仕様へのデータマッピング情報につきまして、貴市よりご提供いただけるものとしてよろしいでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -ウ	市側で用意を進める想定ですが、提供資料の内容については別途協議のうえ、決定します。
12	過渡期システムで使用される文字種から行政標準文字への変換に関する変換テーブルについても、貴市よりご提供いただけるという前提でよろしいでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -ウ	市側で用意を進める想定ですが、提供資料の内容については別途協議のうえ、決定します。
13	「行政標準文字への変換」とは、例えばJIS X 0213や、FUJ明朝等からの変換処理と理解しておりますが、この認識で間違ございませんでしょうか？	仕様書 P3 5- (2) -ウ	お見込みのとおりです。
14	仮想基盤ソフトウェアの種別（VMware、Hyper-V等）が確定しておりましたら、ご教示ください。弊社のご提案は仮想基盤の種別に依存しない設計を予定しておりますが、最適化のため事前にお教えいただければ幸いです。	仕様書 P3 5- (2) -エ	仮想基盤ソフトウェアの種別はHyper-Vの予定です。
15	サーバへのリモート接続におけるセキュリティ制限やアクセス方式（VPNの種別、認証方式等）にご指定がございましたら、ご教示ください。	仕様書 P5 6- (2)	保守業務について遠隔地接続を提案される場合、セキュリティ対策が十分な方法での提案をお願いいたします。 例えば、リモート接続、通信経路の限定、ファイアウォールによる通信制限、専用回線サービスによるセキュリティ対策などが想定されます。 サーバーはマイナンバーを含むセグメントとなるため、十分なセキュリティ対策を講じた提案をお願いします。
16	開発・テスト・ステージング環境は別途ご提供いただけるものと理解しております。その場合の提供時期および利用可能期間についても、併せてお教えてください。	仕様書 P4 5- (2) -オ	仮想環境およびサーバ環境については令和7年11月末までに構築する予定です。仕様書に記載しているものと別のサーバを用意する想定はありません。
17	本番稼働が令和8年10月および令和9年1月に分かれているため、運用開始前の運用テスト実施が必要と考えております。運用テストに係る費用については、翌年度分として見積に計上させていただいて差し支えございませんでしょうか。	仕様書 P4 5- (2) -オ	お見込みのとおりです。標準準拠システムの本番稼働に向けた運用テストに係る費用は今年度分とは別で計上をお願いします。

No.	質問事項	・ 回答に係る関連資料名、章番号	回答内容
18	遠隔保守の検討にあたり、接続方式（指定の回線サービス等）やセキュリティ要件（接続端末のセキュリティ対策等）、ファシリティ要件（セキュリティルームの要件等）がございましたら、ご教示をお願いいたします。	仕様書 P5 6- (2)	セキュリティ要件やファシリティ要件等については、契約前協議にて提示いたします。提案にあたってはセキュリティ対策が十分な方法にてお願いします。